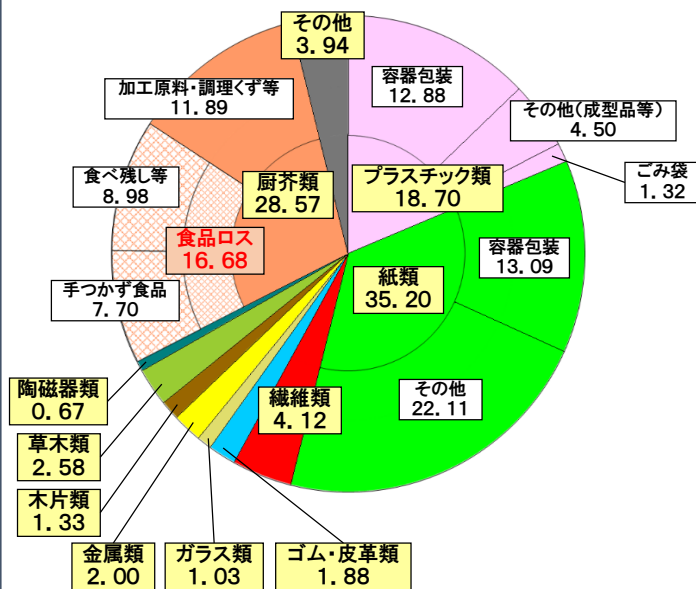


事業系ごみ排出実態調査の結果

【調査期間：令和2年（2020年）10月7日（水）～10月16日（金）】

全業種平均のごみ組成詳細（重量比：％）



●組成概要

事業系全業種平均のごみ重量比で組成詳細を見ると、プラスチック類では、袋・シート類の容器包装が12.88%を占め、プラスチック成型品やストロー等の使い捨て成型品等が4.50%となっています。紙類では、段ボール箱等の梱包材やその他紙製の容器包装が13.09%を占め、紙類が全体の35.20%となっています。厨芥類は、全体の28.57%を占め、そのうち約6割が食品ロスに相当します。この食品ロスの約半分は「手つかず食品（50%以上残存）」で、残り半分は食べ残し等の一般厨芥類となっています。



【大量に廃棄された手つかず食品】

給水スポットを公共施設6か所に設置

令和3年（2021年）6月1日から、一部の公共施設に、マイボトルに対応した給水機を設置しました。利用は無料です。

ペットボトル飲料を買う代わりにマイボトルを使用することで、プラスチックごみを減らすことができます。

しっかり分別をしてリサイクルすることも大切ですが、環境への負荷を低減するため、まずは過剰な使用を抑制することが大切です。

是非マイボトルを使って、環境にやさしいライフスタイルを実践してみてください。



設置場所	
市役所第二庁舎 1階ロビー	豊中市中塚塚3-1-1
庄内出張所	豊中市庄内幸町5-8-1
千里文化センター コラボ2階	豊中市千里東町1-2-2
中央公民館	豊中市曾根東町3-7-3
蛭池公民館	豊中市蛭池中町3-2-1 ルシオーレビル5階
環境事業所 1階ロビー	豊中市走井2-5-5

「使用済小型家電」「水銀使用廃製品及び電池類」の回収拠点を増設

スマートフォンなどに含まれるレアメタル等の希少な資源の効率的回収や、蛍光灯等の水銀使用廃製品及び処理施設等の火災の原因となっている電池類の適正かつ安全な処理を推進するため、トヨタカローラ新大阪(株)の豊中店と東豊中店に「使用済小型家電」と「水銀使用廃製品及び電池類」の回収ボックスを設置しました。



【拠点数(令和3年3月末現在)】
 ・使用済小型家電：24箇所
 ・水銀使用廃製品及び電池類：17箇所

エコショップガイドブックを発行

環境に配慮した取組みを実施している「豊中エコショップ」を紹介する冊子『とよなかエコショップガイドブック』を発行しました。

本冊子では、市内を北部・中部・南部の3つのエリアに分け、最寄り駅ごとに店舗を紹介。「簡易包装」「適正発注」「食品リサイクル」など、取り組み内容が一目で分かるアイコン付きで、各店舗を紹介しています。

エコショップ各店舗や一部の公共施設に配架したほか、市ホームページにも掲載しています。



食品ロス削減推進大賞 審査委員会委員長賞を受賞

株式会社ダイエー、豊中市社会福祉協議会、豊中市は、第1回消費者庁食品ロス削減推進大賞の審査委員会委員長賞を受賞しました。

今回の受賞は、平成31年（2019年）2月から実施している「官民一体となった【市内完結型】フードドライブ活動」を評価いただいたものです。



げん ハッピー(8%)ごみ減量プラン (第4次豊中市ごみ減量計画)

令和2年度 (2020年度) 事業等報告書 速報版



ハッピー(8%)ごみ減量プラン事業等報告書速報版は、当プランの年度ごとの進捗状況を速報版としてまとめたもので、ごみの状況をみなさまにわかりやすく紹介するとともに、ごみ減量施策の進捗状況に対し、みなさまからご意見をいただき、今後の事業展開に活かすことを目的としています。

【ハッピー(8%)ごみ減量プラン(第4次豊中市ごみ減量計画)の概要】

○計画期間
平成30年度(2018年)から令和9年度(2027年)

基本理念は	▶▶▶▶	○協働で取り組む循環型社会の構築
基本施策は	▶▶▶▶	○廃棄物の減量に向けた発生抑制・再使用と質の高いリサイクル(再生利用)の推進 ○廃棄物の適正処理の推進
優先的な取り組み内容は	▶▶▶▶	○食品ロス削減に向けた取組み ○発生抑制・再使用の推進 ○再生資源集団回収の推進 ○ごみ減量に向けた情報提供 ○多量排出事業者におけるごみ減量の促進 ○搬入物調査の活用

【ハッピー(8%)ごみ減量プラン(第4次豊中市ごみ減量計画)の減量目標】

減量目標

ごみの焼却処理量を令和9年度(2027年度)には平成28年度(2016年度)実績より **8% 削減**

平成28年度(2016年度)
約104kt / 年

令和9年度(2027年度)
約95kt / 年

個別目標

家庭系ごみ1人1日当たり量(再生資源除く)

平成28年度(2016年度)
約414g / 人 / 日

約28g 削減

令和9年度(2027年度)
約386g / 人 / 日

事業系ごみ量(再生資源除く)

平成28年度(2016年度)
約43kt / 年

約5kt 削減

令和9年度(2027年度)
約38kt / 年

リサイクル率
約3.6% 増加

平成28年度(2016年度)
約15.7%

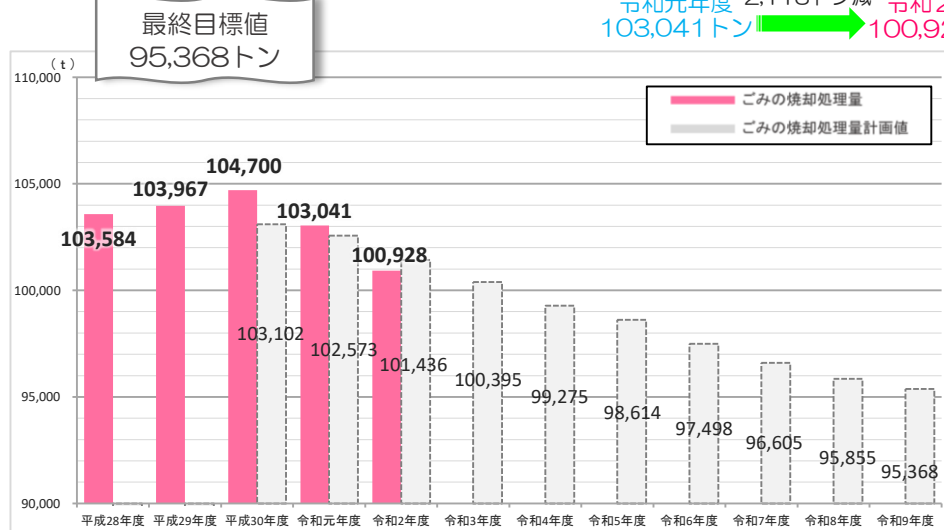
令和9年度(2027年度)
約19.3%



令和2年度(2020年度)のごみ減量の進捗状況

ごみの焼却処理量

ごみの焼却処理量
 令和元年度 2,113トン減
 103,041トン → 100,928トン



・ごみの焼却処理量・・・豊中市伊丹市クリーンランドにおいて焼却処理されるごみの年度合計量
 ・削減率・・・平成28年度のごみの焼却処理量を基準とした年度ごとの削減比率

要因分析

「ごみの焼却処理量」は、令和元年度(2019年度)と比較して約2,113トン減少しています。これは、新型コロナウイルス感染拡大防止措置による休業要請に伴い事業活動が鈍化したことにより、事業系ごみ量が大幅に減少したことが主な要因と推察されます。

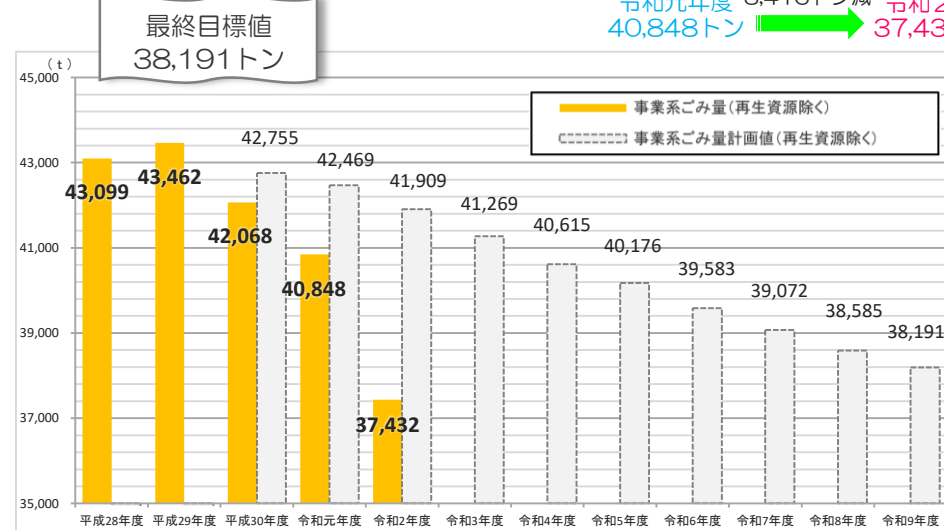
審議会からの評価(案)

当年度の目標値を達成していますが、新型コロナウイルス感染拡大による一時的な減少であることが想定されるため、今後も引き続きごみの削減に取り組む必要があります。



事業系ごみ量

事業系ごみ量
 令和元年度 3,416トン減
 40,848トン → 37,432トン



・事業系ごみ排出量・・・豊中市伊丹市クリーンランドへの事業系ごみ搬入量(再生資源を除く)の年度合計量

要因分析

「事業系ごみ量」は、令和元年度(2019年度)と比較して約3,416トン減少しています。これは、新型コロナウイルス感染拡大防止措置による休業要請に伴い事業活動が鈍化したことが主な要因と推察されます。

審議会からの評価(案)

今後の事業活動の活発化により、事業系ごみ排出量の増加が予測されることから、引き続きごみの削減に取り組む必要があります。



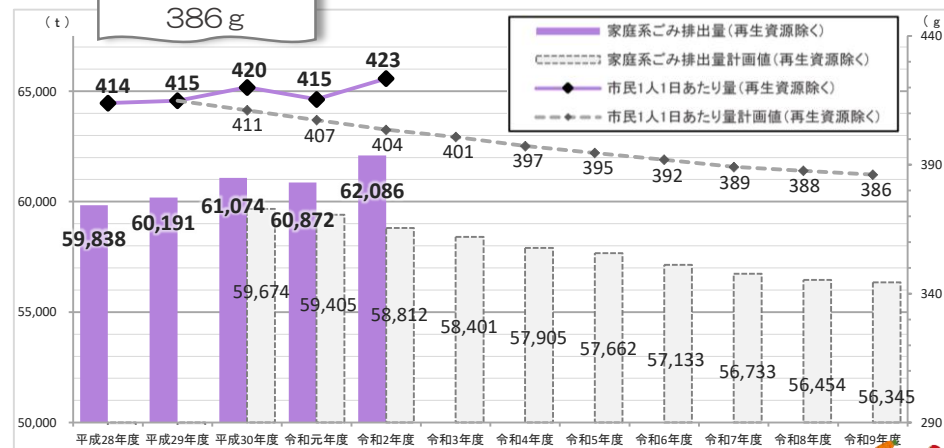
家庭系ごみ1人1日当たり量・家庭系ごみ量(参考)

家庭系ごみ1人1日当たり量

令和元年度 8グラム増
 415グラム → 423グラム

家庭系ごみ量

令和元年度 1,214トン増
 60,872トン → 62,086トン



・家庭系ごみ1人1日当たり量・・・豊中市伊丹市クリーンランドへの家庭系ごみ(可燃・不燃・粗大ごみ)搬入量(再生資源を除く)の市民1人1日あたり量
 ・家庭系ごみ量・・・豊中市伊丹市クリーンランドへの家庭系ごみ(可燃・不燃・粗大ごみ)搬入量(再生資源を除く)の年度合計量

要因分析

「家庭系ごみ1人1日当たり量」及び「家庭系ごみ量」は、令和元年度(2019年度)と比較して増加しています。これは、新型コロナウイルス感染拡大防止により、片づけに伴うごみの増加に加え、自炊による調理くずや、宅配・テイクアウトによる食べ残し・容器包装類など、家庭内における消費活動の活発化に伴うごみの増加が主な要因と推察されます。

審議会からの評価(案)

家庭内における消費活動の活発化を受け、食品ロス削減に向けた取組みの推進や、プラスチック製容器包装など再生資源の適正な分別・排出につながる周知・啓発が必要です。



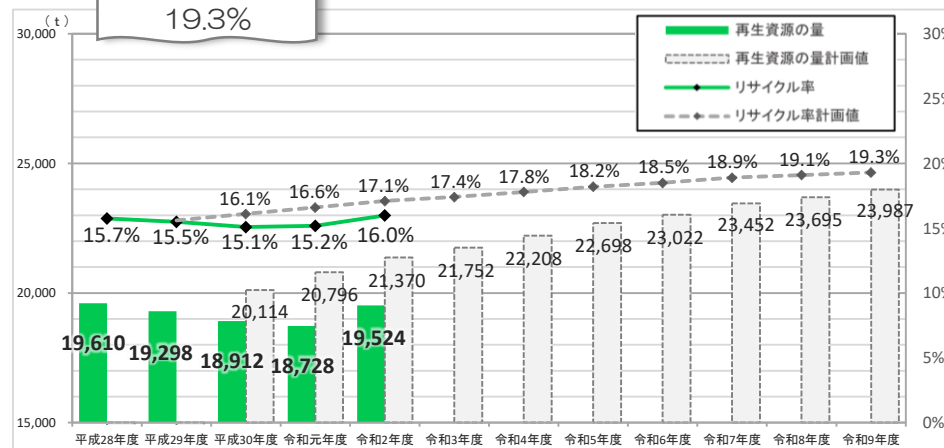
リサイクル率・再生資源の量(参考)

リサイクル率

令和元年度 0.8%増
 15.2% → 16.0%

再生資源の量

令和元年度 796トン増
 18,728トン → 19,524トン



・リサイクル率・・・ごみの総量(再生資源含む)に対する家庭系及び事業系ごみのうち資源化されるごみの割合
 ・再生資源の量・・・家庭系及び事業系ごみのうち資源化されるごみの合計量

要因分析

「リサイクル率」は、令和元年度(2019年度)と比較して約0.8%増加しています。これは、新型コロナウイルス感染拡大防止により、宅配及びテイクアウトの利用増や自宅における飲食の増加などによる容器包装の増加が主な要因と推察されます。

審議会からの評価(案)

発生抑制・再使用の考え方を優先しつつ、適正な分別・排出に協力いただけるよう周知・啓発に努める必要があります。



令和2年度(2020年度)の取組み

第20回ごみ減量オンラインフォーラムを開催

国際的にも重要な課題となっている食品ロスについて学んでもらおうと、「第20回ごみ減量オンラインフォーラム 食品ロスの削減に向けて～もったいないから始めよう～」を、令和3年(2021年)3月19日(金)～21日(日)の期間YouTube配信により開催しました。



優良エコショップ認定証交付式

優良エコショップに認定されている株式会社ダイエー、生活協同組合コープこうべの取組みについて知ってもらうとともに、ufufu osaka 副代表 龍田 美穂 さんの講演「冷蔵庫の整理収納から食品ロスを減らす」により、市民一人ひとりが日常生活で実践できる食品ロス対策などについてご紹介しました。



ufufu osaka 副代表 龍田 美穂さん

アダプトシステム事業に認定

令和2年11月、『プリチストンタイヤ北大阪販売(株)』が本市24団体目のアダプトシステム事業として認定されました。

同社は、グループ全体として長期的な環境活動の方向性を明確にし、従業員一人ひとりの環境意識を高め、持続可能な社会の実現に向け、従業員の主体的な取り組みを促すことをめざしています。



機密書類リサイクル事業を実施

事業所から排出される古紙のリサイクル促進を目的として、「豊中商工会議所」「NPO法人とよなか市民環境会議アジェンダ21」「豊中市伊丹市クリーンランド」と共同で年2回、豊中市伊丹市クリーンランド内において機密書類リサイクル事業を実施しており、令和2年度(2020年度)は、4月13,67ト、10月11,07トの計24,74トの機密書類が豊中市内の事業所から持ち込まれました。集められた機密書類は西日本衛材(兵庫県たつの市)に運ばれ溶解処理を行いトイレットペーパーに生まれ変わります。



作業風景

「ごみと再生資源の分け方・出し方早わかりガイド」を作成

ごみの分別冊子をA3二つ折りサイズに集約したリーフレット「ごみと再生資源の分け方・出し方早わかりガイド」を作成しました。日本語版の他、英語版、中国語版、韓国・朝鮮語版、スペイン語版、ベトナム語版も作成し、単身世帯や外国人世帯など、より幅広い世帯に対する周知ツールとして今後活用します。

